平成30年３月発刊　第21号

いわき市青少年育成市民会議

好間地区推進協議会だより

編集発行
いわき市青少年育成市民会議
好間地区推進協議会

事務局
いわき市立好間公民館

１面　猫と暮らすこと
２面　愛の一声運動・おやこ体験教室
３面　親善球技大会・大なわとび大会
４面　好間町ポスター展・標語展、収支決算報

猫と暮らすこと

好間地区推進協議会
会長　片寄　秀雄

我が家にはかつて五匹の猫がいた。しっぽの先が直角に曲がったメスの虎猫が迷い込んできた。家内にすぐなついたので、皇太子妃のお名前をもらいまさこと呼ぶことにした。翌年五匹の子を産んだ。すべてメス猫であった。黒に近い灰色がかったマクロ子。しっぽが竹の子のようにあっちこっちばんさかったマタケ子。似ているが、しっぽが黒、灰、白などが重なり合ったミー子である。

ところが、ミー子はいつの間にか隣の家に住み着いてしまった。まさ子が亡くなった後、家内が畑の片隅にうづくまっていた茶虎の子猫をかわいそうと言って育てたオスのさくら。その後、家の周りをうろついていた猫も、何匹飼うのも同じだからとすみれと名づけ飼うことにした。

現在は、たけ子、さくら、すみれの三匹と暮らしている。特に、さくらは家族によくなついており、次男の帰宅時間になると落ちつかなくなり、車の音でそわそわして、八キロもある重い体を落ちつかせるらしく、暖かいこたつの中が分かるらしく、目を細めて家に入ってきていた。

眠くなると次男のベッドの上で丸くなって寝ていた。家内と一緒に居間で過ごし、コタツにもぐり込んで朝まで寝ていることが多くなってきた。

猫が家の中に居ることで、以前は裏板でねずみが運動会をしていることもあったが、今は全く静かである。

このような人間と猫との関係は、一万年前まで遡ると言われている。地中海のキプロス島で九五〇〇年前の遺跡に人と猫が共に埋葬されていたことから、「一万年説」が有力になっている。

もし猫が、「ねずみから大切な農作物を守ってくれる」「何となく可愛い」などの理由からは、一万年もの関係は続かないし、現在の猫ブームなども起きていないと思う。

猫と居ると目先の不安な気持ちを忘れることができ、温かい気持ちになる。そして猫と触れ合った後は、さわやかな気持ちになり、悩みや焦りもなくなっていく。猫を飼うと精神の安定や心の安らぎが得られるそうである。猫と触れ合うことにより血圧が下がった。高齢者の病院へ行く回数が減ったとの報告もある。

最近読んで心に残った本は、「幸せになりたければ猫と暮らしなさい」である。是非一読をお奨めしたい。

平成二十九年度事業報告

平成二十九年六月五～八日
第一回愛の一声運動（三十名出席）

平成二十九年七月二日
好間町子ども会親善球技大会（共催）

平成二十九年十月十～十三日
第二回愛の一声運動（三十五名出席）

平成二十九年十一月六～十日
第三回愛の一声運動（四十二名出席）

平成二十九年十一月二十六日
おやこ体験教室
「手作りピッツアに挑戦!!」
（十六家族四十七名参加）

平成二十九年十一月十九日
第二十一回好子連大なわとび大会（共催）

平成三十年一月下旬より
第四十七回好間町少年ポスター展・
第三十五回社会を明るくする標語展
入賞作品掲示
（各小中学校・好間公民館で巡回展示）
※入賞作品は好間公民館に三月上旬まで掲示

平成三十年三月～
第三十五回社会を明るくする標語展
入賞作品の看板製作・各小中学校に設置

平成三十年三月四日
まちづくり文化講演会

少年ポスター　6年最優秀賞

好間町少年ポスター展・社会を明るくする標語展

第47回好間町少年ポスター展及び第35回社会を明るくする標語展を、好間町子ども会育成会連絡協議会との共催で実施しました。
各小学校の御協力により、ポスター展には548点、標語展には196点の応募がありました。
標語については片寄秀雄先生と武田喜美男先生に、ポスターについては草野周子先生に、それぞれ審査いただきました。
入賞作品は、各小学校を巡回して掲示された後、好間公民館に掲示され、各学校で表彰式を行いました。なお、標語については、好間一・二・四小、好間中学校、好間公民館の標語掲示板に、入賞作品が掲示されておりますのでご覧ください。

第４７回　好間町少年ポスター展入賞者

優秀賞（6点）

学年	学区	氏名
1年	二小	有賀　琉人
2年	一小	桂島　瑛大
3年	四小	菊田　美月
4年	二小	佐藤　聡音
5年	三小	髙橋　希
6年	四小	五十嵐帆乃香

金賞（12点）

学年	学区	氏名
1年	一小	佐々木　迅
	一小	岡本　証志
2年	一小	佐藤　啓翔
	二小	安部　寿音
3年	一小	磯目　智
	二小	蛭田　彩月
4年	一小	野崎　栞
	四小	新妻　賢明
5年	一小	佐藤　ひなた
	二小	中村　ちひろ
6年	一小	向山　陸
	一小	梶本　翼

銀賞（18点）

学年	学区	氏名
1年	一小	下坂　海翔
	二小	戸澤　吏都
	四小	新妻　弘基
2年	一小	猪狩　愛美
	二小	佐藤　龍聖
	四小	野舘　唯花
3年	一小	佐川　楓
	一小	鈴木　琉愛
	二小	谷川　知佳
4年	一小	熊谷　亮汰
	二小	千葉　康生
	二小	吉田　來夢
5年	二小	坂下　響
	二小	砂押　美彩
	四小	新妻　薫実
6年	一小	矢島　蒼生
	二小	千葉　太陽
	三小	渡邉　美里

第３５回　社会を明るくする標語展入賞者・作品

最優秀賞（1点）

学年	学区	氏名	標語
5年	一小	坂本　陽向	大丈夫　その一言で　世界が変わる

優秀賞（2点）

学年	学区	氏名	標語
6年	一小	岡田　向希	一言の　あいさつで咲く　微笑みの花
6年	二小	千葉　太陽	活気ある　あかるい未来を　目指す町

金賞（5点）

学年	学区	氏名	標語
5年	一小	矢吹　美羽奈	未来へね　残そう緑を　守ろうよ
6年	二小	佐藤　泰紀	ありがとう　好間みんなの　合い言葉
6年	二小	西山　颯	気をつけて　人気のない道　危ないよ
5年	四小	新妻　薫実	「やめなよ」と　その一言で　すくわれる
6年	四小	大榊　潤子	おはようの　その一言で　笑顔咲く

平成29年度　収支決算報告

（単位：円）

収入の部		
繰越金	130,915	前年度繰越金
会費	342,100	3,421世帯分
補助金	118,736	市青少年育成市民会議、公民館補助金
雑収入	16,000	おやこ体験教室参加費
合計	607,751	

支出の部		
会議費	7,770	運営委員会・総会お茶代
事業費	455,781	
環境浄化運動	0	前年度啓発ちらし利用
青少年参加事業	61,404	おやこ体験教室
ポスター・標語展	20,000	少年ポスター・社会を明るくする標語展
啓発活動	246,377	社明標語看板製作、育成だより発刊
共催助成金	110,000	好子連（球技、大なわとび大会）、行幅、文化講演会
年会費	18,000	好間ふるさと振興協議会年会費
事務費	14,659	コピー用紙代、郵券代
旅費	740	市青少年大会参加
予備費	3,416	成人式事務消耗品助成
合計	482,366	

収入額	607,751円
支出額	482,366円
差引額	125,385円

差引額は平成30年度に繰越